



東北大学

日本語教育は、異文化としての日本理解を実現する上で不可欠のプロセスである。しかし言葉

の教育は、文化の翻訳という困難なプロセスでもある。ロシアは、世界でも日本文化・日本語への関心が高い国の一つであり、このワークショップでは、ロシアと日本の日本語教育の専門家の討論を通じて、日本語教育の課題・方法について議論を行う。



[日露ワークショップ]

日本文化を教える： ロシアと日本の日本語教育の現場から

2013年9月25日(水)
13:00 ~ 17:00

会場 / 東北大学さくらホール2階会議室

入場無料：参加自由

● オープニングセッション

開会の辞：木島 明博(ロシア交流推進室長)
趣旨説明：岡 洋樹(東北アジア研究センター長)

● 第一セッション「ロシアの現場から」

- 報告1：プーリク・イリーナ氏
(シベリア日本語教育協会会長、ノボシビルスク市立「シベリア・北海道」文化センター副館長)
「NTとNNTの協同：シベリア日本語教育協会の場合」
報告2：フロロワ・エフゲニヤ氏(ノボシビルスク国立大学人文学部准教授)
「シベリアの大学における日本語教育：U字曲線をうまく乗り越える」
報告3：宿利 由希子氏(ノボシビルスク国立大学人文学部日本語教師)
「シベリアにおける役割語と発話キャラクタ」
報告4：ピワキナ・マリヤ氏(ノボシビルスク国立大学卒、東北大学ロシア代表事務所職員)
「シベリアにおける日本語教育～学習者の立場から」

● 第二セッション「日本の現場から」

- 報告5：才田 いずみ氏(東北大学大学院文学研究科教授)
「学習環境と日本文化：日本語学習リソース再考」
報告6：佐藤 勢紀子氏(東北大学高等教育開発推進センター教授)
「東北大学における日本語・日本文化教育—「国際共修ゼミ」を中心に—」
報告7：押谷 祐子氏(財団法人東北多文化アカデミー代表、東北大学非常勤講師)
「産学連携短期研修における日本語・日本事情プログラム」
報告8：大泉 貴広氏(宮城県国際化協会企画事業課)
「宮城県国際化協会における地域日本語教育推進の取り組み」

● 討論 ファシリテーター：岡 洋樹氏(東北大学東北アジア研究センター長)

閉会の辞

主催 / 東北大学ロシア交流推進室

共催 / 東北大学大学院文学研究科・高等教育開発推進センター・東北アジア研究センター
シベリア日本語教育協会、ノボシビルスク国立大学

お問い合わせ / 東北大学国際交流課連携推進係 | Tel: 022-217-4844 | Email: kokusai-r@bureau.tohoku.ac.jp